

漢方製剤

オースギ当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキスG

とう き し ぎやく か ご しゅ ゆ しょう きょう とう

(当帰四逆加呉茱萸生姜湯)

承認番号	(61AM) 第3874号
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年10月

貯法：室温保存
「取扱い上の注意」
の項参照
使用期限：容器又は外箱に表示

【組成・性状】

** (1)本剤は1日量9.0g中、下記生薬より抽出した水製乾燥エキス(当帰四逆加呉茱萸生姜湯エキス)4.6gを含有する。

日局 トウキ	3g	日局 カンゾウ	2g
日局 ケイヒ	3g	日局 タイソウ	5g
日局 シャクヤク	3g	日局 ゴシユ	2g
日局 モクツウ	3g	日局 ショウキョウ	1g
日局 サイシン	2g		

添加物として、乳糖、トウモロコシデンプン、ステアリン酸マグネシウムを含有する。

(2)本剤は淡灰赤褐色～淡灰茶褐色の顆粒で、特異なおいがあり、味は初め甘く、後にやや辛く、刺激性である。

識別コード：SG-38

【効能又は効果】

手足の冷えを感じ、下肢が冷えると下肢または下腹部が痛くなりやすいものの次の諸症：しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛

【用法及び用量】

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

(1)慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

- 1)著しく胃腸の虚弱な患者[食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれることがある。]
- 2)食欲不振、悪心、嘔吐のある患者[これらの症状が悪化するおそれがある。]

(2)重要な基本的注意

- 1)本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 2)本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- 3)他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

(3)相互作用

併用注意(併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
①カンゾウ含有製剤 ②グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤 ③ループ系利尿剤 フロセミド エタクリン酸 ④チアジド系利尿剤 トリクロルメチアジド	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	グリチルリチン酸及び利尿剤は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

(4)副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

1)重大な副作用

- ①偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- ②ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

2)その他の副作用

- ①過敏症：発疹、発赤、痒痒等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。
- ②消化器：食欲不振、胃部不快感、悪心、下痢等があらわれることがある。

(5)高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

(6)妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

* (7)小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少なくない〕

【取扱い上の注意】

(貯法) 開封後は、吸湿性があるので、フタをよく閉めて保存すること。

【包装】

- 500g
- 882g (3.0g × 294包)
- 252g (3.0g × 84包)

【文献請求先】

大杉製薬株式会社 医薬情報部
〒558-0056 大阪市住吉区万代東2-1-33

発売元

大杉製薬株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2

製造元

高砂薬業株式会社 大阪市阿倍野区天王寺町南1-1-2